

2. 人間生活学科

1 カリキュラムの概要

人間生活学科は、広く共生社会の実現に貢献する女性を育成するディプロマ・ポリシーを実現するために、以下の4つの学びの段階を設定して、カリキュラムを配置しています。

〈出会う〉人・社会・生活関連の知識・技能を習得し、視野を広げる科目

〈深める〉既存の知識・技能から課題の発見・探究し続ける科目

〈彩る〉学内外の実習・実験など、創造・体験・連携を重視した科目

〈極める〉各専門領域の深まりを基盤とした学修の総合的成果としての科目

これらの学びの順序の中で、学科共通科目と3つの専修の専門科目が配置されています。

1年次の学科共通科目は、「共生社会への招待」「衣食住生活のルーツ」「社会福祉論」「プロジェクトマネジメント入門」の4つが必修科目です。そのほかに、自分の興味や関心を問わず基礎的な知識や技能の修得を目指すために、「ボランティアと学び」「生活環境基礎」「現代の生活経営」「ソーシャルワーク入門演習」「子ども家庭福祉論Ⅰ」「高齢者福祉論Ⅰ」「ソーシャルワークの基盤と専門職Ⅰ」「対人コミュニケーションの技法」「プロジェクトマネジメント基礎演習」が、3専修の専門科目から配置されています。この学科共通科目9科目の中から学びたい科目を選んで履修します。これらの科目をもとに、2年次からの専修を選択することになります。

2年次以降には、「女性リーダーシップ論」「課題発見フィールドワーク」「社会保障サービス」が、つぎの3専修の科目群から学科共通科目として配置されています。これらの科目は、興味や関心にしたがって幅広く学ぶ、専門性を深める、あるいは卒業後の志望進路に沿って、自分で学びたい科目を選んで履修します。

『現代家政』

自らと社会の生活の質の向上(QOL)に貢献できる実践的能力を育成する専修です。家政学の専門知識を深めるために、「衣・食・住生活」及び「生活経営」「生涯発達」科目群を配置して、被服、食物、住居、生活経営・家族にかかわる内容を歴史・文化的な背景や自然科学的な視点を取り入れて多角的に学習します。また学んだ知識を実践するための、実習、実験、演習、プレゼンテーション等の科目が多く配置されています。多くの科目が、教員免許(家庭)取得に必要な科目と重なっています。

『社会福祉』

“自分自身”を活用し、社会福祉の専門性を基盤として、他者に寄り添い、自己実現を支援するソーシャルワーカーを育成する専修です。そのために、社会福祉に関するサービス・制度や専門的な方法について、実践的に学びます。

初年次(学科共通)に、ソーシャルワーカーを目指すための関心・意欲を高めるための「入門・概論科目」を配置します。専門科目群には「各論科目」及び「応用・発展科目」を配置し、利用者及び制度・サービス、地域社会のしくみについて、理解の深化を目指します。

『プロジェクトマネジメント』

多角的・多様な視点からプロジェクトを企画・運営する技能と経験を積むことができる専修です。論理的な考えを整理・表現する力を習得する「学びの技法科目」、他者と協働する力を習得する「ワークショップデザイン科目」、社会の課題を発見する力を習得する「ソーシャルプロジェクト科目」が配置されています。さらに、これらの科目で獲得した知識や技能を学外実践活動で活用する「プロジェクトマネジメント科目」をとおして得た学修経験を、一般企業や公務員や教員、社会的企業活動など多彩な職業で活かします。

これらの3専修の科目群のほか、3年次に「チームビルディング演習」、4年次に「ライフマネジメント」が、3専修の専門科目から学科共通科目に配置されています。「人間生活学研究演習」と「卒業研究演習」「卒業研究」は後述します。

3つの専修の専門科目は初年次から配置されていますが、1～2年次の学習は、大学共通科目の教養科目や外国語の科目群から多く履修しなければなりません。

こうした科目群は、本学建学の精神を理解し、大学生としての教養を深め、外国語の修得や実用化を図るものです。

また、本学科では、次項に示す免許状・資格が取得可能です。取得を希望する場合、これらに必要な科目群の多くは1年次から履修が始まるので、可能性を閉ざさないよう熟慮した履修計画を立ててください。

このほか、他学科の科目や、札幌圏大学・短期大学単位互換制度（通称：グリーンキャンパス、2年次以降対象、101ページ参照）の科目、あるいは教職に関する科目も、上限はありますが卒業単位に含めることができます（98ページ参照）。他学科で開講される科目を履修する場合は、受け入れの可否を各学科の教育課程表で確認して下さい。

なお、1年間に履修登録できる単位数の上限は49単位です。ただし、資格取得に必要な科目は上限単位の中に含まない場合があるので該当するかどうかを確かめて履修登録して下さい（102ページ参照）。2年次終了までに50単位以上を取得していない場合は3年次に進級できないので注意して下さい（106ページ参照）。

2年次から自分が選択した専修が指定する「選択必修単位」を履修し、3年次からは教員ごとに開講されるゼミを選んで所属します（3年次「人間生活学研究演習」、4年次「卒業研究演習」）。3年次に進級する際、学習したいテーマや指導してほしい教員について複数の希望をとり、ゼミが10名弱の少人数になるよう調整します。ゼミでは、担当教員と学生とが対話的なプロセスに基づいてテーマを設定して学習します。

3年次のゼミは担当教員の指導のもとで実践的・応用的な課題に取り組み、4年次の「卒業研究演習」では各自が研究テーマを設定して学習を集成し、さらに「卒業研究」に取り組んで、4年間の学習の成果を卒業研究へと結実させます。

2 人間生活学科で取得可能な免許状・資格一覧

- ・ 中学校教諭一種免許状（家庭）
- ・ 高等学校教諭一種免許状（家庭、福祉）
- ・ 社会福祉士国家試験受験資格
- ・ スクールソーシャルワーカー
- ・ 司書となる資格
- ・ 司書教諭
- ・ 社会福祉主事任用資格
- ・ 社会調査士
- ・ PMCe（プロジェクトマネジメントコーディネーターエントリー資格）

3 履修モデル

ここに示す履修モデルは、人間生活学科の卒業要件をもとに、3専修の特徴と各種の資格を取得するための要件を加えた標準的な例にすぎません。各自の学習目的によって異なりますので、担当教員の指導をもらいながら、これらを参考にして自らの履修計画を立ててください。

なお、教員免許に関する科目（「指導法に関する科目等」）のうち、卒業要件に含めることができる指定科目とは、[教員免許に関する科目（「指導法に関する科目等」）]のうち、「教育実習ⅠA」、「教育実習ⅠB」、「教育実習Ⅱ」、「教育実習Ⅲ」、「介護等体験」、「教職実践演習（中高）」、「教職課外活動Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ」を除いた科目を指します。

(1) 人間生活学科を卒業するための必要単位

◆人間生活学科1年生履修モデル

人間生活学科1年生は下記モデルを参考に、2年生の専修配属に向けて履修科目を選択してください。また、教員免許や資格の取得を目指す学生は、各免許・資格の履修モデルも合わせて参照してください。

		1年開講科目	必要単位数
大学共通科目		p.138を参照	30単位以上修得 ※必要単位の詳細は p.138 を参照
学科専門科目	学科必修科目	共生社会への招待	必修 2 単位
		衣食住生活のルーツ	必修 2 単位
		社会福祉論※	必修 2 単位
		プロジェクトマネジメント入門	必修 2 単位
	現代家政専修希望者が履修すべき科目	現代の生活経営	専修必修 2 単位
		現代衣生活論	専修必修 2 単位
		現代食生活論	専修必修 2 単位
		現代住生活論	専修必修 2 単位
		生活環境基礎	専修選択 2 単位
	社会福祉専修希望者が履修すべき科目	ソーシャルワーク入門演習※	専修必修 2 単位
		子ども家庭福祉論Ⅰ※	専修必修 2 単位
		高齢者福祉論Ⅰ※	専修必修 2 単位
		ソーシャルワークの基盤と専門職Ⅰ※	専修必修 2 単位
		ソーシャルワークの基盤と専門職Ⅱ※	専修必修 2 単位
	プロジェクトマネジメント専修希望者が履修すべき科目	プロジェクトマネジメント基礎演習	専修必修 2 単位
		論理的思考の技法	専修必修 1 単位
デザイン思考の技法		専修必修 1 単位	
ワークショップ入門		専修必修 2 単位	
ボランティアと学び		専修選択 2 単位	
対人コミュニケーションの技法		専修選択 2 単位	
			2年生より各専修に配属され、卒業のためには専修ごとに決められた要件を満たす必要があります。 〈専修選択の要件（2年次以降）〉 ・社会福祉専修を選択する場合、選択する前年度中に※のついた科目全ての単位修得を必須とします。 〈各専修の要件〉 ・現代家政専修：専修必修 12 単位、専修選択 28 単位以上修得 ・社会福祉専修：専修必修 10 単位、専修選択 30 単位以上修得 ・プロジェクトマネジメント専修：専修必修 20 単位、専修選択 20 単位以上修得 上記の専修必修科目、専修選択科目は1年生から開講しています。各専修の科目を幅広く履修するように計画を立ててください。なお、社会福祉を目指す学生は、※のついた科目の単位を1年生の間に修得していないと、資格に必要な単位を4年間で取りきれない可能性がありますので、注意してください。

上記の他、下表のとおり他学科の科目なども指定された単位数まで卒業要件に含めることができる。

	卒業要件に含まれる単位数（4年間の合計）	備 考
他学科専門科目	他学科開講科目のうち、12単位まで自由選択科目として卒業要件に含める事ができる。	食物栄養学科、保育学科専門科目の履修を希望する学生は教務課窓口へ申し出てください。
教職に関する科目（「指導法に関する科目等」）	指定科目のうち、12単位まで自由選択科目として卒業要件に含める事ができる。	指定科目については、教育課程表（p.203）を参照してください。
他学部学科専門科目及び協定校修得科目（本学教育課程表外の科目）	合わせて12単位まで自由選択科目として卒業要件に含める事ができる。	文学部の英語文化学科、日本語・日本文学科、文化総合学科専門科目の履修を希望する学生は窓口へ申し出てください。 協定校修得科目は、短期語学研修または協定校留学に参加した学生の研修先または留学先大学で修得した単位の一部を認定したものです。

◆人間生活学科 2～4年生履修モデル

専修に配属された学生は下記の各モデルを参考に、履修科目を選択してください。

また、教員免許や資格の取得を目指す学生は、各免許・資格の履修モデルも合わせて参照してください。

〈現代家政専修〉履修モデル

		1年	2年	3年	4年	必要単位数	
大学共通科目		p.138を参照				30単位以上修得 ※必要単位の詳細は p.138を参照	
学科専門科目	学科必修	人間生活学研究演習 必修4単位				卒業研究演習 必修4単位 卒業研究 必修4単位	
	現代家政専修科目	1年生履修モデルを参照				卒業研究演習 必修4単位 卒業研究 必修4単位	
		子育ての比較文化 専修必修2単位 服飾美学 専修選択1単位 色彩の錯視と衣服 専修選択1単位 衣造形実習 専修選択2単位 テキスタイル工芸実習 専修選択2単位 食品の成分と機能※ 専修選択1単位 食べ物の材料学※ 専修選択1単位 食生活と栄養 専修選択2単位 調理学実習 専修選択2単位 住居計画 専修選択2単位 現代の生活経済 専修選択2単位 発達と心理 専修選択2単位	家族と社会 専修必修2単位 住居デザイン演習Ⅰ 専修選択2単位 住居デザイン演習Ⅱ 専修選択2単位 消費者問題 専修選択2単位 子どもの発達と保育 専修選択2単位	男女共同参画社会と女性 専修選択2単位 家族と法律 専修選択2単位	専修必修12単位、専修選択28単位以上修得	合計127単位以上修得	
他学科専門科目							他学科開講科目のうち、12単位まで自由選択科目として卒業要件に含める事ができる
教員免許に関する科目(「指導法に関する科目等」)							指定科目のうち、12単位まで自由選択科目として卒業要件に含める事ができる
他学部学科専門科目及び協定校修得科目(本学教育課程表外の科目)							合わせて12単位まで自由選択科目として卒業要件に含める事ができる
他大学等で修得した科目							12単位まで自由選択科目として卒業要件に含める事ができる

備考 ※「食品の成分と機能」と「食べ物の材料学」は同時に履修すること。

〈社会福祉専修〉履修モデル

		1年	2年	3年	4年	必要単位数	
大学共通科目		p.138を参照				30単位以上修得 ※必要単位の詳細は p.138を参照	
学科専門科目	学科必修	人間生活学研究演習 必修4単位				卒業研究演習 必修4単位 卒業研究 必修4単位	
	社会福祉専修科目	1年生履修モデルを参照				卒業研究演習 必修4単位 卒業研究 必修4単位	
		社会保障サービス 専修選択2単位 医学概論 専修選択2単位 子ども家庭福祉論Ⅱ 専修選択2単位 障害者福祉論 専修選択2単位 高齢者福祉論Ⅱ 専修選択2単位 権利擁護を支える法制度 専修選択2単位 刑事司法と福祉 専修選択2単位 地域福祉と包括的支援体制Ⅰ 専修選択2単位 社会福祉調査 専修選択2単位 ソーシャルワーク論Ⅰ 専修選択2単位 ソーシャルワーク論Ⅱ 専修選択2単位	公的扶助論 専修選択2単位 精神保健福祉論 専修選択2単位 保健医療と福祉 専修選択2単位 社会福祉の原理と政策Ⅰ 専修選択2単位 地域福祉と包括的支援体制Ⅱ 専修選択2単位 ソーシャルワーク論Ⅲ 専修選択2単位 ソーシャルワーク論Ⅳ 専修選択2単位	社会保障論 専修選択2単位 社会福祉運営管理論 専修選択2単位 社会福祉の原理と政策Ⅱ 専修選択2単位	専修必修10単位、専修選択30単位以上修得	合計127単位以上修得	
他学科専門科目							他学科開講科目のうち、12単位まで自由選択科目として卒業要件に含める事ができる
教員免許に関する科目(「指導法に関する科目等」)							指定科目のうち、12単位まで自由選択科目として卒業要件に含める事ができる
他学部学科専門科目及び協定校修得科目(本学教育課程表外の科目)							合わせて12単位まで自由選択科目として卒業要件に含める事ができる
他大学等で修得した科目							12単位まで自由選択科目として卒業要件に含める事ができる

〈プロジェクトマネジメント専修〉履修モデル

		1年	2年	3年	4年	必要単位数
大学共通科目		p.138を参照				30単位以上修得 ※必要単位の詳細はp.138を参照
学科 科目 必修	プロジェクト マネジメント 専修科目	1年生 履修モデルを 参照		人間生活学研究演習 必修4単位	卒業研究演習 必修4単位 卒業研究 必修4単位	
			女性リーダーシップ論 専修必修2単位 プレゼンテーションの技法 専修必修1単位 議論の技法 専修必修1単位 ワークショップデザイン※2 専修必修2単位 ワークショップデザイン基礎演習※2 専修必修2単位 プロジェクトマネジメントⅠ※1 専修必修2単位 写真の表現技法 専修選択2単位 動画の表現技法 専修選択2単位 協同学習入門 専修選択2単位 レクリエーション入門 専修選択1単位 アイスペイク入門 専修選択1単位 地域資源活用法 専修選択2単位	プロジェクトマネジメントⅡ※1 専修必修2単位 チームビルディング演習 専修選択2単位 インタビュー調査の技法 専修選択2単位 ソーシャルメディア活用の技法 専修選択2単位 ファンリレーション演習 専修選択2単位 インストラクショナルデザイン入門 専修選択2単位 ファシリテーショングラフィック入門 専修選択1単位	プロジェクトマネジメントⅢ※1 専修必修2単位 アンケート調査の技法 専修選択2単位	
他学科専門科目						他学科開講科目のうち、12単位まで 自由選択科目として卒業要件に含める 事ができる
教員免許に関する科目(「指導法に関する科目等」)						指定科目のうち、12単位まで自由 選択科目として卒業要件に含める事 ができる
他学部学科専門科目及び協 定校修得科目 (本学教育課 程表外の科 目)						合わせて12単位まで自由選択科目 として卒業要件に含める事ができる
他大学等で修 得した科目						12単位まで自由選択科目として卒 業要件に含める事ができる
備考		※1「プロジェクトマネジメントⅡ」を履修するためには「プロジェクトマネジメントⅠ」を、「プロジェクトマネジメントⅢ」を履修するためには「プロジェクトマネジメントⅡ」を修得済みであること。 ※2「ワークショップデザイン」と「ワークショップデザイン基礎演習」を履修するためには、1年生で開講される「ワークショップ入門」を修得済みであること。				

合計127単位
以上修得

(2) 人間生活学科の各免許・資格を取得するための必要単位

◆教員免許取得モデル（中一種〈家庭〉・高一種〈家庭〉・高一種〈福祉〉）

教員免許取得を目指す学生は、希望する免許種・科目に応じて、
下表に示された科目の単位を修得すること。

※ 中一家：中学校教諭一種免許（家庭）
高一家：高等学校教諭一種免許（家庭）
高一福：高等学校教諭一種免許（福祉）

		1年	2年	3年	4年	必要単位
施行規則第66条の6 に定める科目	共通科目	日本国憲法 必修2単位 運動の科学 } 3科目から 運動の実践A } 2単位選択 運動の実践B } 必修 情報リテラシーA 必修2単位				必修6単位、選択必修2単位 を含む8単位を取得 ※情報リテラシーAは高一家の 教科に関する専門事項の科目 の単位としても算入できる。
	外国語科目	Academic Communication I 必修1単位 Academic Communication II 必修1単位				
教科に関する専門事項	家庭科の免許に必要な科目	現代の生活経営 必修2単位 現代衣生活論 必修2単位 現代住生活論 必修2単位 情報リテラシーA 高一家 必修2単位 現代食生活論 選択2単位	衣造形実習 必修2単位 *食品の成分と機能 必修1単位 *食べ物の材料学 必修1単位 食生活と栄養 必修2単位 調理学実習 必修2単位 住居計画 必修2単位 服飾美学 選択1単位 色彩の錯視と衣服 選択1単位 テキスタイル工芸実習 選択2単位 まちづくり論 選択2単位 現代の生活経済 選択2単位	子どもの発達と保育 必修2単位 高一家 必修2単位 生活技術 必修2単位 被服学実験 選択2単位 食物学実験 選択2単位 住居デザイン演習Ⅰ 選択2単位 住居デザイン演習Ⅱ 選択2単位 家族と社会 選択2単位 消費者問題 選択2単位		・中一家 必修18単位を 含む20単位以 上を修得 ・高一家 必修22単位を 修得 ※*のついた 科目は同時に 履修すること
	福祉科の免許に必要な科目	★社会福祉論 必修2単位 ★子ども家庭福祉論Ⅰ 必修2単位 ★高齢者福祉論Ⅰ 必修2単位 ★ソーシャルワークの基盤と専門Ⅰ 必修2単位 ★ソーシャルワーク入門演習 選択2単位	日常生活活動 必修1単位 加齢と障害 必修1単位 障害者福祉論 必修2単位 ☆ソーシャルワーク実習Ⅰ 必修2単位 発達と心理 選択2単位 医学概論 選択2単位 子ども家庭福祉論Ⅱ 選択2単位 高齢者福祉論Ⅱ 選択2単位 地域福祉と包括的支援体制Ⅰ 選択2単位	介護福祉論 必修2単位	社会保障論 選択2単位	・高一家 必修15単位を 含む20単位以 上を修得 ・中一家 ・高一家 ・高一家 必修科目・選択 科目を含む59 単位以上を修得
教員免許に関する 科目〔指導法に関 する科目等〕	教育原理 必修2単位 教師論 必修2単位 北海道の教育 必修2単位 教職課外活動Ⅰ 選択1単位	中等家庭科教育法Ⅰ 中一家、高一家 必修2単位 中等家庭科教育法Ⅱ 中一家、高一家 必修2単位 教育制度論 必修2単位 教育心理学 必修2単位 教育課程論 必修2単位 教育方法論 必修2単位 教育現場でのICT活用 必修1単位 教職課外活動Ⅱ 選択1単位	中等家庭科教育法Ⅲ 中一家、高一家 必修2単位 中等家庭科教育法Ⅳ 中一家、高一家 必修2単位 福祉科教育法Ⅰ 高一家、高一家 必修2単位 福祉科教育法Ⅱ 高一家、高一家 必修2単位 特別支援教育論 必修2単位 道徳教育 中一家 必修2単位 高一家、高一家 必修2単位 特別活動の指導法・総合的な学習 の時間の指導法 必修2単位 生徒指導・進路指導 必修2単位 教育相談 必修2単位 教育実習ⅠA 必修1単位 教職課外活動Ⅲ 選択1単位 介護体験 中一家 必修1単位 高一家、高一家 必修1単位	教育実習ⅠB 必修1単位 教育実習Ⅱ 必修2単位 教育実習Ⅲ 中一家 必修2単位 高一家、高一家 必修2単位 教職実践演習(中・高) 必修2単位	・中一家 必修42単位を 修得 ・高一家 必修38単位を 修得 ・高一家 必修34単位を 修得	

☆のついた科目の履修条件

★のついた科目：単位修得済み

◆社会福祉士受験資格取得モデル

社会福祉士受験資格取得を目指す学生は、下表の科目を全て修得すること。

		1年	2年	3年	4年
履修の手引き 人間生活学部	科目 教養	心理学 2単位 社会学 2単位			
	社会福祉士受験資格必修科目 学科専門科目	★ソーシャルワーク入門演習 2単位 ★社会福祉論 2単位 ★ソーシャルワークの基盤と専門職Ⅰ 2単位 ★ソーシャルワークの基盤と専門職Ⅱ 2単位 ★高齢者福祉論Ⅰ 2単位 ★子ども家庭福祉論Ⅰ 2単位	医学概論 2単位 社会福祉調査 2単位 ソーシャルワーク論Ⅰ 2単位 ソーシャルワーク論Ⅱ 2単位 地域福祉と包括的支援体制Ⅰ 2単位 社会保障サービス 2単位 高齢者福祉論Ⅱ 2単位 障害者福祉論 2単位 子ども家庭福祉論Ⅱ 2単位 権利擁護を支える法制度 2単位 刑事司法と福祉 2単位 ○ソーシャルワーク演習Ⅰ 2単位 ○ソーシャルワーク演習Ⅱ 2単位 ☆ソーシャルワーク実習指導Ⅰ 1単位 ☆ソーシャルワーク実習指導Ⅱ 1単位 ☆ソーシャルワーク実習指導Ⅲ 1単位 ☆ソーシャルワーク実習Ⅰ 2単位	社会福祉の原理と政策Ⅰ 2単位 ソーシャルワーク論Ⅲ 2単位 ソーシャルワーク論Ⅳ 2単位 地域福祉と包括的支援体制Ⅱ 2単位 公的扶助論 2単位 保健医療と福祉 2単位 ◆ソーシャルワーク演習Ⅲ 4単位 ◇ソーシャルワーク演習Ⅳ 2単位 ◇ソーシャルワーク実習指導Ⅳ 1単位 ◇ソーシャルワーク実習指導Ⅴ 1単位 ◇ソーシャルワーク実習Ⅱ 3単位	社会福祉の原理と政策Ⅱ 2単位 社会福祉運営管理論 2単位 社会保障論 2単位 備考： ・実習・演習科目を履修するためには下記の条件を満たしていること 1. ☆のついた科目の履修条件 ★のついた科目：単位修得済み ○のついた科目：同時に履修 2. ◇のついた科目の履修条件 ☆のついた科目：単位修得済み ○のついた科目：単位修得済み ◆のついた科目：同時に履修

◆社会福祉士受験資格+認定スクール（学校）ソーシャルワーク資格（SSW）取得モデル

社会福祉士受験資格及び認定スクール（学校）ソーシャルワーク資格（SSW）取得を目指す学生は、下表の科目から必修84単位、選択必修2単位を修得すること。

		1年	2年	3年	4年
履修の手引き 人間生活学部	科目 教養	心理学 2単位 社会学 2単位			
	社会福祉士受験資格必修科目+S S W科目 学科専門科目	★ソーシャルワーク入門演習 2単位 ★社会福祉論 2単位 ★ソーシャルワークの基盤と専門職Ⅰ 2単位 ★ソーシャルワークの基盤と専門職Ⅱ 2単位 ★高齢者福祉論Ⅰ 2単位 ★子ども家庭福祉論Ⅰ 2単位 ※教育原理 2単位	医学概論 2単位 社会福祉調査 2単位 ソーシャルワーク論Ⅰ 2単位 ソーシャルワーク論Ⅱ 2単位 地域福祉と包括的支援体制Ⅰ 2単位 社会保障サービス 2単位 高齢者福祉論Ⅱ 2単位 障害者福祉論 2単位 子ども家庭福祉論Ⅱ 2単位 権利擁護を支える法制度 2単位 刑事司法と福祉 2単位 ○ソーシャルワーク演習Ⅰ 2単位 ○ソーシャルワーク演習Ⅱ 2単位 ☆ソーシャルワーク実習指導Ⅰ 1単位 ☆ソーシャルワーク実習指導Ⅱ 1単位 ☆ソーシャルワーク実習指導Ⅲ 1単位 ☆ソーシャルワーク実習Ⅰ 2単位 ※教育制度論 2単位 教育心理学 2単位	社会福祉の原理と政策Ⅰ 2単位 ソーシャルワーク論Ⅲ 2単位 ソーシャルワーク論Ⅳ 2単位 地域福祉と包括的支援体制Ⅱ 2単位 公的扶助論 2単位 保健医療と福祉 2単位 ◆ソーシャルワーク演習Ⅲ 4単位 ◇ソーシャルワーク演習Ⅳ 2単位 ◇ソーシャルワーク実習指導Ⅳ 1単位 ◇ソーシャルワーク実習指導Ⅴ 1単位 ◇ソーシャルワーク実習Ⅱ 3単位 精神保健福祉論 2単位 スクールソーシャルワーク論 2単位	社会福祉の原理と政策Ⅱ 2単位 社会福祉運営管理論 2単位 社会保障論 2単位 ◎スクールソーシャルワーク演習 1単位 ◎スクールソーシャルワーク実習指導 1単位 ◎スクールソーシャルワーク実習 2単位 備考： ・実習・演習科目を履修するためには下記の条件を満たしていること 1. ☆のついた科目の履修条件 ★のついた科目：単位修得済み ○のついた科目：同時に履修 2. ◇のついた科目の履修条件 ☆のついた科目：単位修得済み ○のついた科目：単位修得済み ◆のついた科目：同時に履修 ・※のついた科目はいずれか2単位選択必修。その他の科目は全て必修科目。 ・◎のついた科目を履修するためには、この表に記載された3年生までの必修科目を修得済みであり、選択必修2単位を修得済みであること（受講制限5名）。

◆社会調査士資格取得モデル

社会調査士資格取得を目指す学生は、下表の科目から必修12単位、選択必修2単位を修得すること。

		1年	2年	3年	4年
資格科目	社会調査士 学科専門科目		課題発見フィールドワーク 2単位 社会福祉調査 2単位 プロジェクトマネジメントI 2単位	☆インタビュー調査の技法 2単位 統計調査と北海道 2単位 統計調査と心理 2単位 マーケティングリサーチ 2単位	☆アンケート調査の技法 2単位 備考： ☆のついた科目はいずれか2単位 選択必修

◆プロジェクトマネジメント・コーディネータエントリー (PMCe) 資格取得モデル

プロジェクトマネジメント・コーディネータエントリー (PMCe) 資格取得を目指す学生は、下表の科目を全て修得すること。

		1年	2年	3年	4年
資格科目	PMCe 門科目 学科専門科目	プロジェクトマネジメント入門 2単位 プロジェクトマネジメント基礎演習 2単位	プロジェクトマネジメントI 2単位	プロジェクトマネジメントII 2単位	